

# ふれあい情報

## 2017年9月5日(火) 第261号

■発行 日本退職者連合  
 ■発行人 菅井義夫  
 ■連絡先 〒101-0062  
 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

<TEL>03-5295-0507<FAX> 03-5295-0541<e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

### 人見会長が2017年度運動方針の具体化で決意表明 「行動する退職者連合へ」



▲第1回幹事会であいさつする人見会長。幹事会には役員、幹事など38人が出席。2017年度運動方針の具体化で意思統一した。(8月23日、連合本部)

### 政策委員会が新しくスタート

「専門委員会設置と運営規則」の一部改定して発足

#### 第1回幹事会

退職者連合は、2017年度の第1回幹事会を8月23日午後1時半から連合本部3階会議室で開き、7月の第21回定期総会で決定された運動方針の具体化をはじめ、専門委員会設置および運営規則の一部改定による政策委員会の設置、常任幹事3人の承認などを行いました。また終了後に開催された2017全国高齢者集会第3回実行委員会では、集会和デモの具体的な実施内容について確認しました。

政策担当 川端邦彦常任幹事  
 組織担当 野口敏也常任幹事  
 男女平等参画推進担当 竹田邦明常任幹事



人見会長あいさつ(要旨)

#### 行動する退職者連合へ 共に取り組もう

7月14日の定期総会で行動する退職者連合の取り組みを確認した。その後、政策・制度要求での政

府、政党への要請、さらにカジノ解禁法反対の取り組みなど、いくつかが行動してきた。9月末には臨時国会が開かれ、カジノ解禁推進法、労基法改正など大きな議論になる。また政府の方針だと介護報酬、診療報酬の改定など工程表に基づいて動いてくるので必要に応じて対応していきたい。100万組織拡大の目標に向けて進みたい。連合とも連携して取り組むので皆さんの協力をお願いしたい。

会議では冒頭、人見一夫会長が「会は、年金と医療・福祉の二つにふれあい、行動する退職者連合へ共に取り組むことを訴えました。(発言要旨は右) ともに進みます。」と述べた。

協議事項では、菅井義夫事務局長が2017年度運動方針の具体化や専門委員会設置および運営規則の一部改定案を提起し、承認されました。3つの専門委員会の委員についても幹事全員を配置することを確認しました。

政策・制度要求関連の専門委員

# 退職者連合は1個人と1団体が受章

「2017年度エイジレス・ライフ実践事例・社会参加活動事例」選考結果

退職者連合は、内閣府が主催している「エイジレス・ライフ実践事例・社会参加活動事例事業」に賛同して2017年度において地域で活動する退職者連合の会員・団体を推薦しました。内閣府での選考の結果、エイジレス・ライフ実践事例(個人の部)で小林須磨子さん(79歳)、社会参加活動事例(団体の部)で札幌市退職教職員協議会合唱サークル「睦」(むつみ)が表彰されました。賞状と楯の伝達は、全国高齢者集会で行います。なお活動内容は、退職者連合のホームページをご覧ください。

小林さん(NIT労組退職者の会山口県支部協議会)は、1987年1月、職場での銭太鼓同好会の発足に参画。銭太鼓を通じて地域とのふれあいをめざして活動を続けてきました。



小林須磨子さん

定年退職後も老人施設の夏祭りやクリスマス会、誕生会などで銭太鼓を披露。年間

## 「エイジレス・ライフ実践事例・社会参加活動事例」事業とは

高齢社会での生き方の例として、エイジレス・ライフを楽しんでいる個人や社会参加活動を積極的に行っているグループを紹介し、高齢期を迎えたりこれから迎えようとする世代の生活の参考として内閣府が1995年9月からスタートさせたものです。

15回ほどボランティア活動も続けています。

合唱サークル「睦」の結成は、1990年。現在のメンバーは約50人。8割が女性で、会の平均年齢は82歳です。毎年、札幌市民合唱祭に参加したり、独自のコンサートを開くなどの活動を行っています。また、合唱を通して仲間づくりにも取り組んでいます。



▲札幌市民合唱祭で披露する「睦」のみなさん。

## カジノ解禁推進法反対で第4波の街頭宣伝実施

退職者連合、カジノ反対の団体署名やパブリックコメントを取り組む

退職者連合は、日弁連(日本弁護士連合会)や全国カジノ賭博場設置反対連絡協議会、中央労福協、消費者団体、司法書士団体などとともに8月29日夕方、池袋東口でカジノ解禁推進法反対の街頭宣伝活動を実施しました。3月、5月、7月に続く第4波の行動には、各団体から42人(退職者連合関係は27人)が参加しました(写真右)。

また日弁連の呼びかけに応じて退職者連合は、カジノ反対の団体署名やパブリックコメントの取り組みにも積極的に参加。団体署名では構成組織(産別・関連退連、地方退連)の協力を得て9月4日現在、228筆が寄せられました。

退職者連合は、今後とも日弁連などと連携してねばり強く反対運動に取り組んでいきます。

ホームページは退職者連合で検索を



▲カジノ解禁推進法反対を訴える日弁連の加藤裕副会長。この日は、6人がマイクをとって都民に訴えました。(8月29日、池袋東口)

退職者連合

検索